



スイス・リー「フォーカス・レポート」: 中国では自然災害のリスクが高く、保険普及度の大幅向上が急務である

Contact:

Corporate Communications, Beijing
Telephone: +86 10 8518 8966 ext 309

Corporate Communications, Asia
Hong Kong Telephone: +852 2582 3660

Corporate Communications, Sydney
Telephone: +61 2 8291 9566

Group Media Relations, Zurich
Telephone +41 43 285 7171

Swiss Reinsurance Company
Beijing Branch
1701, E2, Oriental Plaza
Dongcheng District
Beijing 100738
China

Telephone +86 10 8518 8966
Fax +86 10 8518 8556
www.swissre.com

北京、2006年3月6日 — スイス再保険会社「フォーカス・レポート」最新号は、自然災害リスクが大きく、想定最大損失額が増加傾向にある中国では、保険普及度を引き上げないと経済・社会の持続的な発展が失速しかねないと予想しています。「中国における自然災害 — 長期安定性の確保」と題されたこのレポートは、中国が直面している自然災害を概観した上で、そうしたリスクの保証に伴う要素を明らかにするとともに、かかるリスクの管理についてスイス再保険が長年にわたって培ってきた経験を明らかにしています。

中国政府の推計によれば、同国では年間の自然災害被災者数が2億2,000万人(人口13億人の6分の1に相当)に達し、1998年には3,000億元という記録的な経済的損失を被りました。この状況をいっそう複雑にしているのが、中国の目ざましい経済成長とリスクの高い地域、とりわけ都市化の進む沿岸地帯の一部における地価の爆発的高騰です。

スイス再保険の試算では、三大自然災害リスク(台風、洪水、および最大の脅威である地震)のいずれかに起因する巨大災害が今日発生すれば、中国は総額で1兆元を超える経済的損失を被る可能性があります。これは同国の2005年GDPの約6%に相当する額です。

このレポートでは、中国の三大自然災害リスクによって甚大な被害がもたらされる可能性が詳述されています。

- 地震: 最大のリスク源である。歴史的惨事となった1976年の唐山(タンシャン)地震では、死者が24万人を超えた。地震ハザードマップによれば、北京を含む中国の大都市の半数以上が地震多発地帯に含まれている。
- 台風: 大規模な山崩れはここ数十年間起きておらず、台風の脅威は表面的には低下したように思われる。だが、もっともリスクの高い地域が南東の沿岸沿いに分布しているため、香港から上海へと連なる商業中心地が大型暴風雨によって壊滅的被害を受ける恐れがある。

- 洪水:1998年の大洪水は、揚子江盆地の中流・下流地域から中国北東部一帯の住民約2億4,000万人に被害を及ぼし、洪水の破壊力の凄さをまざまざと見せつけた。やはり、今日同規模の洪水が発生すれば、当時をはるかにしのぐ被害や損失が予想される。

この規模の災害が発生する可能性が存在する上に、中国における2005年の保険普及率*が生命生保険分野でわずか2%である—損害保険分野ではさらに低く0.7%と推定される—事実を踏まえると、保険がカバーするのはこうした災害の予想被害額のごく一部でしかありません。保険の効用に対する認識を高めるとともに、大災害に見舞われる前に効果的な対応策を講じることが急務であることを、このレポートは指摘しています。

レポートはまた、保険会社は保険普及率向上のために、中国のリスクに関するデータを充実させ、その評価方法を強化する必要がある点にも言及しています。この分野で最先端を走るスイス再保険は、地震や台風のリスクをグローバルに評価する確率モデルや、局地的な洪水リスクの評価ツールなどを駆使しているほか、北京師範大学による中国自然災害地図の開発もサポートしています。

保険普及度を改善する一つの方法は、自然災害リスクのプーリング制度を国家規模で構築することであり、これには中国政府もすでに支持を表明済みです。この方式は、長期保険ソリューションに効率性を加味することで保険料の節約を可能にするものであり、全世界で導入され効果をあげています。スイス再保険は、同様の方式の開発を積極的に支援しており、中国に関しては官民の連携がきわめて有効であると考えています。

* 中国の保険普及率(2005年)は、スイス再保険会社エコノミックリサーチ&コンサルティングの試算による。保険普及率とは保険料総額がGDPに占める比率で、ある国や地域において保険や特定の保険商品がどの程度重視されているかを測る尺度として利用される。

編集者への注釈

スイス再保険会社について

スイス再保険会社(略称「スイス・リー」)は、世界有数の再保険会社であり、生命・医療再保険では世界最大。当社は世界30カ国以上で70を超える拠点を展開している。1863年にスイスのチューリッヒで創業されて以来、スイス・リーは再保険事業に従事してきた。スイス再保険会社は、資本とリスクを管理するための多種多様な商品を提案している。広範囲にわたる損害保険ならびに生命・医療保険と関連サービスなどの伝統的な再保険商品に加え、包括的なリスク管理のために保険をベースにしたコーポレート・ファイナンス・ソリューションとその補完的なサービスも提供。スイス・リーの現在の格付けは以下の通り。(1)スタンダード&プアーズから「AA(クレジット・ウォッチ・ネガティブ)」の長期カウンターパーティー格付け、保険財務力格付け及び長期発行体格付けと、「A-1+」の短期カウンターパーティー格付け、(2)ムーディーズから「Aa2(格下げ方向で見直し中)」の保険財務格付け及び長期債務格付けと、「P-1」の短期格付け、(3)A.M. Bestから「A+(格下げ方向で見直し中)」の財務力格付け。

スイス再保険会社は1913年よりアジアとの連携を始め、現在ではアジア・パシフィック地域に900名を超える従業員を擁し、アジア本部を香港に置いている。今年にはアジア・パシフィック地域で初めて事務所を開設してから50周年を迎える。

スイス・リー フォーカス・レポート「中国における自然災害」は <http://www.swissre.com> よりダウンロード可能。また、製本版(英語)は publications@swissre.com 宛メールにて注文受付。注文番号は1503155__06__EN。